

けいじばん

○次回活動のご案内；1月9日（日）を臨時活動日とします。清和県民の森の支援を受け、伐採・玉切り・搬出作業。9時40分森林館駐車場集合。携行品；安全手帳、ノコギリ、ナタ、ヘルメット、あればチェーンソー、弁当、水筒、お椀。1月定例活動日を1月30日（日）に延期、主な作業は木工等。9時40分森林館駐車場集合。

○里山フォーラム；ちば里山センターの設立を記念し「里山フォーラム in ちば」が1月23日（日）13時～16時、加藤登紀子さんを招き市原市市民会館で開催されますのでふるってご参加下さい。詳細は別添。

○千年の森ホームページ開設；伊藤会員のご尽力で千年の森のホームページ（上記）を開設準備中です。今後逐次充実します。閲覧のうえ要望意見をお寄せ下さい。自宅にパソコンない方も公民館や図書館のパソコンから閲覧可能です。

かつどうきろく

12月4日（土）曇 参加会員16名

○景観管理林・巨木林の除間伐・玉切り・運搬；坂本代表の安全作業上の注意の後、ベテラン+安全責任者+作業補助者複数名で構成する伐採班3班を編成、各班とも笛の合図に合わせチェーンソーが唸り熟練者も初心者も、チェーンソーもロープ係りも一体となり作業、倒木方向調整とかかり木処理に苦心。午後は主に玉切り・運搬。全員汗だく、特に一輪車進入出来ない巨木林区域からの搬出に。



○きのこ班は栽培きのこの収量調査；実績は次頁。昼食にはなめこ・しいたけ・ひらたけタツプリの贅沢きのこ汁。

○ミーティング；宿舎で入浴、汗を流しミーティング

- ①当日作業のまとめと作業安全の反省
- ②千年の森ホームページと会報誌の今後
- ③会員以外の入島、その他

○忘年会；会員14名に県民の森所長・次長の出席で大盛会、汗を流した後のビールは格別、閉会後も暴風雨の音を聞きながら深夜迄話尽きず。

12月5日（日）快晴強風 参加会員8名

○前日残りの伐採及び玉切り・運搬；少数精鋭部隊何故か気合入り玉切りも運搬もはかどり、最後に安全作業復習のため、太いコナラの伐採。

2日間の伐採実績；コナラ27本、カシ29本、針葉樹6本、合計62本。



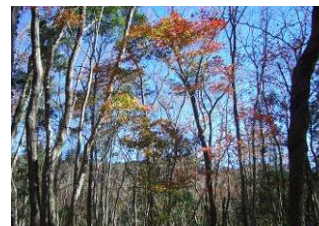
暴風雨警報の予報はずれ初日は汗ばむ陽気、作業終了後小雨、深夜暴風雨、2日目は強風ながら快晴、奇跡的に天候に恵まれ、会発足以来の本格的伐採作業は意外に順調に進んだ。安全作業の反省課題（下記）は残したものの、森の作業に快い汗を流し、晩秋の美しい紅葉の下で、具沢山の贅沢きのこ汁など森の恵みを存分に堪能、夜はビールでのどを潤し美酒を味わい、深夜まで語り合う、充実の2日間でした。

今回の作業を振り返って

12月4・5日に行われた伐採作業は無事終了しましたが、作業後のミーティングやメールによる投稿により、作業中に危険を感じた方やチェーンソーなど道具類の使い方や貸し借りについての疑問、班編制についての意見など問題点も多く寄せられました。いずれも作業の安全性に関わる問題です、坂本代表はじめ役員全員が真摯に受け止め、対応策を協議しているところです。

そこで、会員の皆さんに作業の安全についてのご意見・提案を募集します。例えば、こんなことで作業中に危険を感じたとか、こうすればもっと安全・スムーズに作業できるのではないか、というようなことです。またこの他にも、チェーンソーなど動力機械を活用して作業の効率を計るべきか、手作業中心でいいのではないか。さらに、当会ではチェーンソーなどは原則個人管理、貸し借りについては慎重に行うというのが役員間の認識ですが、チェーンソーなども会として共有のものがどうか、などなど。当会の活動をより有意義で安全なものとするために、皆さんのご意見をお寄せ下さい。意見の宛先は上記の事務局アドレス宛又は会報誌封筒差出人住所宛など可能な方法で結構です。（長村）

最後の紅葉を猛烈な風がひとなぎで吹き飛ばしていく。「あっ、あんなに高く！」誰かが叫ぶ。キノコ汁をかき込んで見上げると 紅い落ち葉が一枚二枚と青空に舞い上がる。そう言えば、豊英島の紅葉はこれで三度目になる。年々紅葉が鮮やかに見えるのは、私たちが行ってきた森づくりの成果か、あるいは単なるひいき目だろうか。すっかり葉の落ちた梢の上をトンビが鳴きながら旋回している。残りのキノコ汁をほおぼりながら、フト、こんなに贅沢な食べ物はないなと感慨が湧く。とくに今回は二日間みっちり伐採作業をしてきたのでキノコの滋味が身にしみるのかもしれない。森の恵みに感謝しつつ、さらにこんなことを考えた。私たちは「千年の森づくり」をしている、と思っている。だが、この美しい森の自然や森の恵みは、永い森の営みや里人の営みの結果なのではないかと。つまり今現在、既に私たちは千年の森に居るのだ。これが千年の森なのだ。私たちはそれを受け取って未来に伝えるのが役目なのではないか。そんなことを考えていると、近くでチェーンソーが唸り声を上げた。気がはやるのだろう。午後も目一杯コナラを伐採して片付けるのだ。「さあ、私も頑張ろう！」腰を上げたが、その前にキノコ汁をもう一杯。紅葉が来年も一段と鮮やかになることを願ってキノコ汁で乾杯だ。



「千年の森12月4日・5日の活動」

岩崎寿一会員

季節外れの台風の影響が気になっていましたが、青空を見上げて、清和県民の森の駐車場に向かいました。「今日は午後から雨なので、早めに切り上げゆっくり風呂に入りましょう」等と云いながら各々荷物を担ぎつり橋を渡りました。いつもの様に、揺れる吊り橋に足元をふらつかせながら子供の頃に戻ったように、楽しい気持ちになってきます。千年の森に入ると、森は見違えるような明るさで、積もった落ち葉を踏みしめながら歩くと心地よい音。整備が進むと“もっとふわふわな道になるのかな”等と思いながら千年広場に集合。総勢16名、坂本代表から本日の作業内容の説明。「天候が気になるので、間伐を先にやりましょう」伐木作業は、3班編成。前回ビニール紐で印しをした間伐予定樹をチェーンソーで伐採する作業に取りかかる。1班は坂本班長、2班は鈴木班長、3班は長村班長、それぞれ担当区域を決め、各班に笛が渡され受け口切りと追い口切りの時、笛の合図で必ず退避確認。午前中は伐木を主体とした作業、各班とも“かかり木”の始末に大変手を焼いた。昼食はきのこ収量調査を終えた則子夫人の具沢山キノコ汁。

午後の作業は伐木の枝払いと玉切り、そして運搬。これが大変な作業でした。紅2点の則子さんはノコギリで枝払い、可恵さんはだいぶ上達したチェーンソーで玉切り、休憩も無しに「そんなに頑張ってる大丈夫!？」と心配される程。3時迄しっかりと作業、残りを明日に残して国民宿舎”清和”に引き上げました。

皆汗びっしょり、早速風呂に入り、それからミーティング。作業の安全に関わること、千年の森ホームページのこと、吊橋と森公開の事、里山フォーラムのこと、などを話し合いました。そして待望の宴会。清和県民の森から鈴木所長、石井次長が参加、君津の新井御夫妻も無事到着され、大宴会の始まり。乾杯の後、キノコづくしの料理を堪能しながらお酒も進んだ頃、吉田ちずさん差入れの、銘酒「久保田」が振舞われ、美酒を味わいました。森林の大切さ、里山の荒廃に対する嘆き、森を愛する後輩を育てる必要性、など13年寅年の方々を中心に活発に盛り上がりました。

お開きのあと、部屋で2次会。やはり、話題は千年の森のこと。現状をどうするのか、その将来像はどうあるべきか。またボランティアの役割と限界等12時過ぎ迄続きました。外は激しい雨と風が吹き付けておりました。「明日の朝はゆっくり出来るな」と安心して眠りに就きました。

朝8時朝食、風は強く吹いておりましたが、なんと青空が出ており陽が射して来たではありませんか。「さあ 今日やるぞ」坂本代表の言葉に皆気を引き締めて出発。今日は8名。千年広場の周りにあったカシ等の常緑樹のほとんどを昨日間伐したので、見違えるように広々と明るくなり、モミジの紅葉が一際美しく映えておりました。今日の作業は昨日に引続き玉切りと整理。午前中頑張って働き昼食、キノコ汁の鍋を逆さにして最後の汁迄平らげたのは長村さん。食後のデザートは新井夫人手作りのブランデーケーキとフルーツケーキ、ご馳走様。午後頑張る整理。最後に太いコナラを1本全員で伐採。かかり木にならぬよう、また安全の為ロープを使って伐採。安全確認、退避確認 笛の合図など基本に沿って作業。“安全第一”。整理を終えて15時、無事に作業が終わりました。皆さんお疲れ様でした。

豊英島はきのこ一杯；11月23日県民の森のイベント終了後、会員有志7名きのこ調査に島に潜入し、大量のきのこ発見、しいたけヒラタケは巨大化、ムキタケ・クリタケは収穫適期を過ぎて無残に変色・変質。シーズン中は最低2週に一度程度の定期調査収穫が必要なこと痛感。今後調査・収穫に会員の皆様のご協力をお願いします。



ほだ木一面のナメコ
撮影04/11/23

10月24日+11月23日+12月4日の累計収量実績(03年植菌)

- ・シイタケ 1,440g
- ・ヌメリシギタケ 300g
- ・ナメコ 4,600g
- ・ムキタケ 約73本 過熟、変色
- ・クリタケ 約193本 過熟、黒変
- 他にヒラタケ多量、無秤量

